

のぎわっ子 家庭学習の手引き 東部小学校 2年

家庭学習の意義

- 1 学校で学習した内容をより確かになります。
- 2 家庭での学習習慣が身に付きます。
- 3 自ら学ぼうとする態度や学習に対する自信が付きます。
- 4 がまん強さ・根気・集中力が身に付きます。
- 5 家族が触れ合う機会となり、子どもの心の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

東部小学校では、子供たちの学力向上に取り組んでいます。学力の向上には、学習の定着をはかるだけではなく、自ら学ぼうとする姿勢を育てることが大切です。**自ら学ぼうとする態度は、子供たち自身が学習理解を振り返り、学習を深めるために必要なことを考えていく力です。**そのためには、保護者の皆様の協力が必要です。**家庭学習がやりっ放しになっていないか一緒に答えを確認したり、アドバイスをしたりするなどの御協力をお願いします。**

生涯にわたる「学び」へとつながります。

2年生はこんな時期

- ・1年間の学校生活を体験し、見通しがもてるようになっていきます。
- ・学校や友達の様子を進んで話すようになります。聴いてあげましょう。
- ・自分のことは自分でする習慣を付けるのに良い時期ですが、まだ、家族の手助けが必要です。
- ・正しい鉛筆の持ち方や箸の持ち方はこの時期までに身に付けましょう。

意識してアドバイスを続け、努力を認めた

り根気よくほめたり励ましたりする親

がんばりを認め、
ほめて励ます言葉
掛けをしましょう。



学校の主な学習内容

- ・新出漢字は160字、かけ算九九、長さの単位、三角形・四角形について学習します。
- ・質問したり、質問に答えたり、グループで話し合っ
て答えをまとめたりする学習が増えてきます。
- ・繰り返し練習することで身に付く学習がたくさん
あります。
- ・学ぶ力の土台となる「返事やあいさつをする」「は
きものをそろえる」「時間を守る」「整理整頓をし
て持ち物の管理をする」ことの、定着を図ります。

学びの三がまえ

- <心がまえる> テレビなどを消して、集中して学習する。
(時間の目安 30分)
- <物がまえる> 整頓された場所で学習する。
- <身がまえる> 良い姿勢で学習する。
- <物がまえる> 前日に、次の日の準備をする。
 - ① 予定を見て持ち物の準備をする。
 - ② 鉛筆を削る。
 - ③ 学校からの連絡やお便りを、確実に手渡す。

家庭学習 こんな内容・方法で

- | | |
|-------------------|---|
| 国語 音読 | ・姿勢や口形、声の大きさや速さに注意して、はっきりとした発音で読めるように しましょう。句読点にも気を付けましょう。 ・大人がしっかり聞いて、たくさんほめてあげましょう。 |
| 漢字 ドリル プリント | ・正しい書き順で、とめ、はね、はらいに気を付けて、丁寧にゆっくり 書きましょう。 ・ 大人が見届けをし、間違いがあればその場で直す習慣を付けましょう。 |
| 日記 読書 | ・主語と述語が整った文を書きましょう。 ・「のぎわっ子必読図書」を完読しましょう。 ・大人は、子どもの興味を引く本をそばに置きましょう。 ・親子で本を読んだり、本について話したりしましょう。 ☆木曜日を「のぎわっ子読書の日」と位置付け、読書の推進を図ります。 |
| 算数 計算 | ・正しい計算が確実に身に付くように、繰り返し練習しましょう。 ・まちがった問題は必ずもう一度やり直す習慣を付けましょう。 九九カード・ドリル・プリント・正しい計算が確実に身につくよう繰り返し練習しましょう。 |

自主学習にもチャレンジ

- ・生活科での学習に関連して、家での手伝いに取り組みましょう。
- ・なわとびや鉄棒などの体力づくりをしましょう。